

探究学習・出前授業【高校生】

N0	教員氏名	学部	学科	職位	キーワード、タグ	探究学習のテーマ	テーマの概要
1	阿部 知顕	理工学部	生物科学科	教授	細胞生物学、発生学	①粘菌のはなし ②細胞性粘菌の世界	
2	太田 尚志	理工学部	生物科学科	教授	生物海洋学、浮遊生物学	①ミズクラゲ大量発生仕組み ②植物プランクトンはなぜ小さい？ ③貝毒プランクトン	
3	角田 出	理工学部	生物科学科	教授	魚類生理・病理学、養殖学、食と環境の科学	①魚の養殖・健康、食の安全を支える技術 ②環境ホルモン・ネオニコチノイド系農薬の影響について考える ③陸上養殖を進める意義は？ ④魚の隠れた力にググッと接近！	
4	指方 研二	理工学部	生物科学科	教授	電気化学	①人間電池になってみる！ ②環境にやさしいエネルギーと電池	①電池にまつわる歴史を概観し、身の回りのものや人間が電池になってしまうのを体験してもらいます。 ②我が国のエネルギー事情を概観し、脱炭素にむけて電池が果たす大きな可能性についてお話しします。
5	柴田 清孝	理工学部	生物科学科	教授	生化学、分子生物学	①ゲノムってなんだろう？ ②新しい薬をつくるーゲノム創薬ー	①ゲノムとは遺伝子の集まりを意味しています。では、遺伝子とはなんだとおもいますか？ ②ゲノム創薬とは、遺伝子発現調節におけるゲノム情報の蓄積によって新薬の開発を目指すものである。
6	高橋 計介	理工学部	生物科学科	教授	二枚貝、水産養殖、健康評価	①アカガイはなぜ赤いか？ 血液からみる貝の多様性 ②カキは生で食べる？火を通す？ 食文化の視点	
7	玉置 仁	理工学部	生物科学科	教授	環境生態工学、海草藻類学	①藻場のはなし ②干潟のはなし ③災害と水環境	
8	奈良 英利	理工学部	生物科学科	准教授	細胞生物学、動物形態学、免疫学	①筋肉は忙しい！ ②牡鹿半島のニホンジカの動向をPCR法で探ってみた ③短期間の体にいい運動とは？ーマウスモデルの研究からー	①筋肉は単に運動や体を支えるだけの働きをしているわけではありません。実は様々な体にいい物質を作っていることがわかってきました。さて、どのような効果があるのでしょうか？ ②ニホンジカは良い餌場を求めて移動をします。牡鹿半島のニホンジカはどこからどこに行くのかPCR法で調べました。PCR法とはどういうものかと結果について説明します。 ③体にいい運動とはどういったものでしょうか？また長続きしない三日坊主タイプのヒトはどうなるのか、マウスを使った実験結果から説明します。
9	根本 智行	理工学部	生物科学科	教授	植物、花、生物多様性	①花のしくみとはたらきを知る ②植物標本の大切さと作り方 ③花の見方・果物の見方	
10	前田 敏輝	理工学部	生物科学科	教授	物性物理学	①ソフトマターとは何だろう ②ゲルのレオロジー ③原子力災害と避難に関する基礎知識	
11	宮寄 厚	理工学部	生物科学科	教授	カビ、菌類、細胞壁	①ちょっと変わったカビの世界 ②細胞壁の話 ③菌類を知ることから始めよう！	①動物の糞上に発生するヒゲカビの特徴を紹介します。 ②生物による細胞壁の違い、細胞壁の多様な役割について解説します。 ③学校で扱う教科書では記載の少ない菌類に関して、分類、基本構造と生活環、多様な生き方、人との関わりなど、広く紹介します。
12	柳 明	理工学部	生物科学科	教授	細胞生物学、遺伝学、発生生物学	①ゾウリムシの話 ②原生生物に関わる話 ③生物をつくっている細胞に関する話	
13	山崎 達也	理工学部	生物科学科	教授	触媒、ナノマテリアル、バイオエタノール	①バイオエタノールをどうやって利用するか？ ②触媒とはーそのはたらきと役割ー ③ナノメートルサイズの空間をもつ材料の機能	
14	阿部 博和	理工学部	生物科学科	准教授	海洋生態学、無脊椎動物学、系統分類学	①身近な海に住むベントスの暮らし ②動物の系統分類と進化	①海や川、湖、池などの水域の底で生活している生物をベントス（底生生物）といいます。海洋のベントスには陸上や淡水域には生息していない多様な動物がいて、独特な生態をもつものも少なくありません。干潟や磯など身近な海に住むベントスの暮らしを紹介します。 ②動物はおよそ34のグループ（動物門）から構成されています。そのうち、脊椎動物以外は背骨をもたない無脊椎動物です。動物の主要なグループの特徴を進化という概念に基づいて整理することで、現在の地球上の生物多様性を形作ってきた動物進化の歴史のあらすじを紹介します。
15	鈴木 英勝	理工学部	生物科学科	教授	加工廃棄物、地域に眠る美味しいもの、魚介類に付く寄生虫	①怪獣は何を食べているのだろう？ ②これ食べても大丈夫？身の回りに潜む寄生虫の話 ③石巻で食べれる未利用・低利用・深海魚	①空想上の生き物（怪獣）を題材にし、既存の生物学と水産学の知識を応用して何を食べているかを推定する ②島国日本では食料の一部に海産物を多く摂取している。その中に潜む寄生虫を面白分かりやすく説明する ③石巻の魚市場み水揚げられる魚の中で、魚屋に並ばないレアで美味しい魚を紹介します。
16	辻 大和	理工学部	生物科学科	准教授	動物生態学、霊長類学	①身近な自然の生き物のつながりを知る ②野生動物の交通事故・ロードキルについて学ぼう ③動物の骨を観察してみよう	
17	中川 薙	理工学部	生物科学科	准教授		①遺伝子組換え食品とゲノム編集 ②遺伝の法則と分子遺伝学をつなぐ実験実習	①遺伝子組換え食品や作物、ゲノム編集について基本的な知識と動向について情報提供を行う。 ②シロイヌナズナの八重咲き変異体を材料に、PCR法、制限酵素処理、電気泳動といった基本的な分子生物学実験を通して、メンデルの法則を分子遺伝学的に理解する。
18	鳴海 史高	理工学部	生物科学科	准教授		右手の分子と左手の分子	鏡像（光学）異性体とは何なのか、生体機能とどのように関連しているのかを説明する。
19	渡辺 正芳	理工学部	生物科学科	准教授	幾何学、数理生物学、科学教育	①ピカチュウの寿命？！～数理のチカラで生物をカガクする～ ②ぐにゃぐにゃ数学入門～医療・ファッション・ドラクエに隠された数学～	①サトシの肩にちょこんと乗っているピカチュウ。「指数と対数」を使って、寿命を予想してみましょう。 ②〇と△を同じと思うと何が起きる？「トポロジー」という不思議な数学の世界を紹介します。
20	足立 岳志	理工学部	機械工学科	教授	材料強度学、材料工学	①材料と歴史 ②物が壊れるとは ③材料の腐食	①物・道具などの原材料は、歴史を紐解くと人類の生活・社会の発展に大きな影響を及ぼしています。人類の歴史にどのようにかかわっているかを説明します。 ②物が壊れると、多くの人命が失われることがあります。なぜ壊れるか、壊れないようにするにはどうすればいいかを解説します。 ③鉄は錆びるため、昔の鉄製品は残っているものは少ないです。錆びること、つまり腐食は材料にどのような影響を及ぼすかを解説します。
21	梅山 光広	理工学部	機械工学科	教授	SDGs まちづくり・将来モビリティ・再生可能エネルギー	①SDGs 未来都市づくり・自動運転モビリティ・再生可能エネルギー ②社会問題解決と新価値創造・未来地図づくり	①安全・安心で人優先の都市のあり方、簡易な自動運転、再生可能エネルギーについて解説する。 ②地域の問題に丁寧に取り組み、若い世代の価値感を優先し、未来に引き継いで行ける都市を作る。
22	尾池 守	理工学部	機械工学科	教授	航空宇宙工学、トライボロジー	①ロケットを安全に飛ばす ②トライボロジーの世界 ③グリーントランスフォーメーション（GX）	①日本のロケットH-2、3の開発に基づいて、ロケットを安全に飛ばす方法について概説する。 ②摩擦や摩耗のメカニズムを説明し、モノを円滑に動かすための潤滑について概説する。 ③太陽光・風力等の再生可能エネルギーや水素エネルギーの活用について概説する。

N0	教員氏名	学部	学科	職位	キーワード、タグ	探究学習のテーマ	テーマの概要
23	亀谷 裕敬	理工学部	機械工学科	教授	機構、機構、製品開発	①産業革命と機械工学の誕生 ②新製品開発物語。 ③機械の基本は4本の棒からはじまる ④歯車と動力伝達機構	①蒸気機関の発明と普及で社会を変えたのが産業革命ですが、同時に誕生したのが機械工学です。この二者は持ちつ持たれつで現代社会を築いてきました。 ②商品の企画から試作、量産、消費者に届くまでをどんな人たちが関わって、どんな手順で生み出されるのかを中心にドキュメンタリータッチで語ります。 ③4本の棒の端どうしをピンで連結すると四角形になります。この四角形を変形するだけで、、、、あとは見てのお楽しみ。役に立つ機械になるのです。 ④モーターやエンジン等から動力を伝える機構は歯車やベルトなど多くの種類があります。その選び方と特徴や設計する際の注意点などを紹介します。
24	川島 純一	理工学部	機械工学科	教授	内燃機関、パワートレイン、自動車工学	①自動車の未来、エンジンの将来 ②君にもできる！レース用電気自動車の作り方 ③自動車のハイブリッド・システム	
25	三木 寛之	理工学部	機械工学科	教授	機能性材料、省エネルギーデバイス、環境発電デバイス	①材料学のすすめ ②身近な機能性材料と機械 ③接触の科学～摩擦と潤滑について	①そもそも材料とは何か、それを実際の機械に使うにはどうすればよいかを分かりやすくお話しします。 ②機能性材料とは何か、新しい機械を作るにはどうすればよいかについてお話しします。 ③物と物が接触するとはどういうことか、少し掘り下げてお話しします。
26	水野 純	理工学部	機械工学科	教授	MEMS、マイクロマシン、ロボット	①あなたの毎日を支えてくれる大切なMEMSデバイス ②実践的に学ぶロボット工学	①今、我々のポケットの中にも知らない内にマイクロマシンがひそんでいます。例えば、携帯電話のマイクやスマホを回転したときに、その動きを感じし画像を「クルッ」と回すもの。また、カーナビで車の位置・姿勢を常に教えてくれるもの。これらのものはすべてマイクロマシンである。マイクロマシンとは、半導体製造技術に基づいて造られたミクロンレベル構造を持つ超小型な電気機械部品またはシステムです。日本では、「マイクロマシン」と呼ぶことが多いですが、「MEMS」(メムス、Micro Electro Mechanical System：微小電気機械システム)と呼ぶ方が一般的である。現代社会において、MEMSが携帯電話、自動車、ロボット、医療機器の様々な分野で使われるようになり、我々はより便利、安全かつ豊かな生活ができるようになった。MEMS(マイクロマシン)が日常生活においてどれくらい大切なものであることに皆様が気づいていただければ、本授業の目標達成となると考える。 ②幅広い年齢層に対象となる授業のため、理解度を高める工夫点として、受講者の理解を合いながら確認し、内容説明の仕方と進み具合の調整を行う授業である。授業は基本的にパワーポイントを使用する形態であり、ロボットの動きや仕組みなどをビデオで説明することにより理解度を高めるような工夫も行っている。授業内容として、最近私の研究室で開発した3軸デジタル加速度センサを用いた水平スタビライゼーションシステム、赤外線測距センサとリニアアクチュエーターのフィードバック制御システム、MEMSマイクロミラーによる路面凍結検出システム等を加え、当研究室で実施しているロボット工学教育及び研究内容について述べる。ロボットの機構・電子的な仕組みやそれを制御するための最新型のMEMS型加速度・ジャイロセンサ、曲げセンサ、無線通信デバイス、マイコンボードなどについて解説しながら、本学で設計・製作したロボットの動作などをビデオで紹介し、受講者にとって非常にわかりやすい授業を行う。
27	高橋 智	理工学部	機械工学科	准教授	機械工学、材料力学、デジタル工作機器	①機械が感じるストレス ②デジタルものづくり入門 ③スバゲッティータワー	①人間と同じように機械にもストレスが存在します。ストレスの評価や対策について解説します。 ②3Dプリンタをはじめとするデジタル工作機械を使ったものづくりを体験してみましょう。 ③スバゲッティを使って頑丈で高いタワーを設計、製作してみましょう。
28	稲毛 真一	理工学部	機械工学科	教授	熱流体、エネルギー、データサイエンス	地球温暖化の現状と人工知能が果たす役割	地球温暖化の原因と状況を分かり易く説明し、その後で人工知能の役割を説明する。高校生向けに実績有。
29	阿部 正英	理工学部	情報電子工学科	教授	信号処理、画像・映像処理	①古いフィルム映像のデジタル修復 ②画像・映像信号処理 ③デジタル信号処理	①画像・映像信号処理の応用例として、古いフィルム映像を修復する手法を紹介する ②身近にある画像・映像について、具体的な例でどのように処理されるかを紹介する ③身の回りの様々なデータを取り扱う方法や処理する方法について紹介する
30	工藤 すばる	理工学部	情報電子工学科	教授	電気、実験、自動車	コンピュータシミュレーションの基礎～表計算ソフトを使いこなそう～	表計算ソフトを使って近似的に面積や傾きを求めることでコンピュータによるシミュレーションの技術を紹介します。
31	佐々木 慶文	理工学部	情報電子工学科	教授	計算機システム、知能情報処理、コミュニケーションロボット	小さなコンピュータによる知能情報処理	物体検出や画像認識などの高度な知能情報処理を、てのひらサイズの小型コンピュータで実現する取り組みを紹介します。
32	中込 真二	理工学部	情報電子工学科	教授	半導体工学	①ワイドバンドギャップ半導体とその応用 ②スマートフォンの中の半導体やセンサの話 ③半導体の歴史	①ワイドバンドギャップ半導体とは何か。どんないいところがあるのか。どのように使われているか。 ②スマートフォンの中にある半導体やセンサなどの電子部品のお話。 ③私たちの生活で必要不可欠な半導体。それがどのように生まれ、開発されてきたかを振り返る。
33	本田 秀樹	理工学部	情報電子工学科	教授	電力工学	①電力システムの供給信頼度 ②再生可能エネルギーと電力品質 ③電力システムの雷被害対策	①世界の先進国のなかでも特に電力の供給信頼度（停電が少ない）が高い我が国の電力システムについて概説する。 ②気象条件に影響を受ける太陽光、風力などの再生可能エネルギーを大量に導入した場合に電力品質（電圧変動・周波数変動・停電の多さ）にどのような影響が生じるかを概説する。 ③我が国、特に東北エリアでは50年前から現在まで、停電の要因で最も多いのが雷である。停電抑制に向けた雷被害対策について概説する。
34	安田 隆	理工学部	情報電子工学科	教授	半導体工学、電子・光物性	①発光デバイスの世界 ②現代社会を支える半導体材料	
35	木村 健司	理工学部	情報電子工学科	准教授	グラフ理論、バーチャルリアリティ、アルゴリズム	①グラフ理論 ②バーチャルリアリティ ③アルゴリズム	①パズルや生活の中で使われている数学（グラフ）について、説明します。 ②学生が開発したバーチャリティリアリティのアプリの紹介や開発体験をしてもらいます。 ③数字当て、一筆書き、最短経路などの問題を効率よく解く方法について説明します。
36	野竹 孝志	理工学部	情報電子工学科	准教授	核融合、量子光学	①光とは何か ②不思議な量子もつれと量子コンピュータ ③見えないものを見る研究	
37	劉 忠達	理工学部	情報電子工学科	助教	情報セキュリティ	情報セキュリティについて	授業概要 身近な事例を用いて、情報セキュリティの基本概念と関する日常生活の注意事項を解説する
38	李 東勲	経営学部	経営学科	教授	マーケティング、流通、まちづくり	①地元特産品を活用した新製品開発について ②売れる仕組みとは何？	①ゼミナールの課外活動を用いて「新製品開発プロセス」について分かりやすく説明する。 ②営業と販売の違いについて明確に説明する。
39	岡野 知子	経営学部	経営学科	教授	税務会計、税法、簿記、会計教育	①税金と私たちの生活 ②だれにでもわかる簿記講座 ③税金の使い道を知って未来の街づくりを考えよう	
40	庄子 真岐	経営学部	経営学科	教授	観光、地域、まちづくり	観光資源を見つけよう	地域にあるモノやコトに注目し、観光資源になるものを一緒に考えていきましょう。
41	菅原 玲	経営学部	経営学科	講師	持続可能、ライフスタイル、生業	①地場産業を見に行こう ②工芸・手しごと・地域との関係 ③資源と暮らしの関係～ライフスタイルは変えられる？	①宮城県や東北地方の地場産業、地域産業を知り、様々な生業（なりわい）があること、また地域が抱える課題や、歴史との関係などから地域性を学びます。 ②工芸と伝統工芸の違いは何か？暮らしとの関係や循環型の資源、生業との関係を実際の事例から学びます ③環境に影響を及ぼす暮らしとは何か？暮らしを支える工業製品に必要な資源はどこからくるのか？その関係性を学びながら、心豊かで持続可能なライフスタイルを考えます。
42	杉田 博	経営学部	経営学科	教授	経営学	①経営のトライアングル ②経営学はどこから来たのか、どこへ行くのか	
43	丸岡 泰	経営学部	経営学科	教授	途上国、コスタリカ、復興	①経済発展と観光 ②災害復興とツーリズム ③途上国はなぜ貧しい ④国際関係の虚実 ⑤世間の常識は本当か	

N0	教員氏名	学部	学科	職位	キーワード、タグ	探究学習のテーマ	テーマの概要
44	三森 敏正	経営学部	経営学科	教授	会社法（商法）、金融商品取引法、民法	①会社における法律問題 ②個人情報に関する法律問題	
45	茂木 克昭	経営学部	経営学科	教授		①社会における金融の役割 ②EUの通貨の統合について ③現在の金融政策について ④なぜ超金融緩和が続くのか ⑤為替相場はどのように決まるのか	
46	田村 真介	経営学部	経営学科	准教授	簿記・会計、原価計算、管理会計	①「簿記ってどう役立つの？」 ②「ビジネスと会計」 ③「会計の視点で見える・考える」	①経営者になったつもりで会社運営と簿記について考える（商業科向け）。 ②原価計算を題材としたゲームをしながらビジネスと会計の関係を考える。 ③企業で起こる様々なビジネスシーンを題材に企業の活動と会計の関係について考える。
47	稲葉 健太郎	経営学部	経営学科	講師	人材マネジメント、経営組織論、組織心理 学、リーダーシップ、モチベーション	①『良いチーム』って何だろう？ ②「今日から私もリーダー！？」自分らしいリーダーシップを発揮しよう！	①組織行動に必要な「コミュニケーション」「貢献意欲」「共通目的」について学ぶ ②リーダーシップとは何なのか、どうすればリーダーシップを発揮できるのかについて考える
48	森 尊文	経営学部	経営学科	助教	グローバル企業、イノベーション・エコシステム、企業戦略	①イノベーション、起業家について ②グローバル企業ってなに？	
49	矢邊 均	経営学部	経営学科	教授	法常識、法と政治、学び	①目からウロコの法常識「法（ホ～）そうだったのか！」 ②社会を法と政治から眺める ③大学で学ぶことの意義	①法律を難しくしてるのは？実は法律の専門家！気づいていないだけで法律は意外に簡単で面白い！法アレルギー症状を「法律のこころ」を理解することで治療します。 ②社会の見方はさまざまですが、特に制度やその仕組みから考えてみましょう。 ③大学も発明のひとつだといわれていることを知っていますか？過去から未来をつなぐ大学というところで学ぶ意義について考えましょう。
50	浅沼 大樹	経営学部	情報マネジメント学科	教授	経済学 地域経済	①勉強することの意味を勉強する ②失敗しないための経済学的思考方法 ③地元をちょっと熱くする経済学 ④将来役立つ金融知識	
51	工藤 周平	経営学部	情報マネジメント学科	教授	競争戦略、ビジネスモデル、プログラミング	①企業はいかに競争しているか ②企業のビジネスモデルを考える	①企業の競争戦略、製品・サービスの価値を高めるためのポイント、競争にうまく対応するために大事なこと、競争状況の分析方法を考える ②企業はどのようなビジネスモデルを構築しているのか、ビジネスモデルで重要なことは何か、ビジネスモデルの構築方法について考える
52	佐々木 万亀夫	経営学部	情報マネジメント学科	教授	情報、NP0（非営利組織）	①ICT化の光と影 ②災害時のNP0（非営利組織）活動の組織化について	①ICT化にはあらゆるものが便利になるといったプラス面があるが、デジタルディバイド、ネット上の誹謗・中傷・デマ、フィッシングなどのマイナス面もある。これらについて説明する。 ②東日本大震災発生時の経験から、災害時のNP0・ボランティア活動を円滑に行うための中間支援組織のあり方について説明する。
53	関根 慎吾	経営学部	情報マネジメント学科	教授	会計学、簿記論、商業科教育	①教養としての商業教育 ②貨幣を会計学的に考える	
54	湊 信吾	経営学部	情報マネジメント学科	教授	情報処理	①データサイエンス ②人工知能に関わる情報処理 ③ビットコインの仕組み	
55	中山 愛子	経営学部	情報マネジメント学科	特任准教授	地域経済、データ分析、地域政策	自分のまちの特徴を知ろう	
56	小松 真治	経営学部	情報マネジメント学科	助教	地域間人口移動、地域経済分析、将来人口推計	①E x c e lを使った将来人口分析 ②R E S A Sを使った地域人口分析 ③jSTAT MAPを使った人口分析	①本テーマでは人口推計の手法の1つであるコーホート要因法について紹介し、Excelを使って簡易的な人口推計を行っていきます。 ②本テーマでは経済産業省と内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が提供しているRESASを使って地域の人口を分析していきます。 ③本テーマでは総務省統計局の「jSTAT MAP」を使って、自分たちの住む地域ではどこに人が集まっているのか可視化し、「なぜ集まっているのか」、「20年、30年後にはどう変化していくのか」分析します。
57	三橋 勇太	経営学部	情報マネジメント学科	講師	観光、情報科学、認知心理	①情報科学を用いた新しい観光政策 ②視線から学ぶ観光心理・消費者行動	
58	恵原 貴志	人間学部	人間文化学科	教授		①爆発の化学と物理 ②人間の脳に電流を流す	①最もわかりやすい化学反応である爆発を科学への入り口として考える ②頭皮に電極を付け頭蓋骨を介して脳に電流を流すことにより人間の能力を向上させられるか？という研究が実在する。
59	大縄 道子	人間学部	人間文化学科	教授	アメリカ文学、英語教育	①英語多読について ②世界の英語について ③戦後のアメリカ児童思春期文学	①英語多読の成果について理論と研究の紹介後、実際に絵本の多読を体験します ②英語の使用者数の今後、国や地域による英語の違いとその背景など、学校ではあまり習わない英語の諸側面について ③第二次世界戦後のアメリカ児童思春期文学の移り変わり時代背景との関わりについて
60	根本 泉	人間学部	人間文化学科	教授	英米詩、英国児童文学、英詩と日本の詩の比較	①英米詩を読む——ワーズワースとブライアントを中心に ②英国児童文学を読む——『ナルニア国物語』を中心に ③英詩と日本の詩を比較する——リズムと韻を中心に	①英国やアメリカのやさしい詩を鑑賞しつつ、英語の詩を読解する方法を学ぶ。 ②英国の文学者・作家であるC. S. ルイスの『ナルニア国物語』を読み、その文学的・思想的な魅力に迫る。 ③英詩が日本語の詩とどう違うのかを、リズムや韻に注目して考察し、その内容の豊かさを味わう。
61	松崎 俊之	人間学部	人間文化学科	教授	美学、芸術学	①日本は西洋からどのように表象されたか ②だまし絵の世界 ③音の風景を聴く	①ブッチーニのオペラ《蝶々夫人》を題材として、日本は西洋からどのように表象（イメージ）されてきたかについて考える。 ②「だまし絵」とは何かを考えるとともに、「だまし絵」と対比することで虚構的芸術としての絵画について考察する。 ③われわれが普段耳にしている環境音をいわば一種の音楽として聴くことで開ける豊かな世界について論ずる。
62	山内 武巳	人間学部	人間文化学科	教授	睡眠、健康、アウトドア	①睡眠の大切さ ②登山の教育効果 ③シーカヤックの教育効果	
63	輪田 直子	人間学部	人間文化学科	教授	中国文学、初級中国語	①歴史を「物語る」ー三国志の世界 ②日本人が楽しく学べる中国語 ③小説に見る現代中国の世相	①「三国志」には、様々な異説があります。奇想天外な物語から中国の庶民の文化を学びます。 ②日本語とは全く異なる面白い漢字の意味、未知の魅力的な発音に触れてみましょう。 ③激動の現代中国をリアルに、シニカルに描き、時に発禁にもなってしまう小説を紹介します。
64	高橋 幸	人間学部	人間文化学科	准教授	ジェンダー、セクシュアリティ、社会学	①現代の社会運動を知ろう——#MeToo, #BlackLivesMatter, 気候正義 ②性別をめぐるアンコンシャス・バイアスとは何か？	①2010年代からの「SNSの一般化」というメディア環境の変化の中で、人々が自分の日常的な関心に基づいて声を上げ社会変革を求める運動がグローバル規模で広がった。ここでは、#MeToo, #BlackLivesMatter, 気候正義の3つを丁寧に見ていながら、現代の運動の潮流をつかもう。 ②批判され続けてもなお残っている「女らしさ」や「男らしさ」規範。それらの何が問題なのかを具体的に解説する。その後、どのような「女らしさ／男らしさ」規範が問題であり、どのような物であれば問題がないのかを、参加者で議論しながら丁寧に考えていこう。

N0	教員氏名	学部	学科	職位	キーワード、タグ	探究学習のテーマ	テーマの概要
65	西川 慧	人間学部	人間文化学科	准教授	文化人類学、イスラーム、インドネシア	①文化人類学の誘い〜異文化の視点から見る私たち ②「多様性の中の統一」〜インドネシアの人と文化	①文化人類学がどういった学問で、その視点から私たちの生活を振り返ると現代社会を生きていくうえでどんなヒントがあるのかお話します。 ②民族も文化も多様なインドネシアの人たちの生活について紹介したうえで、私たちの生活とどのようなつながりがあるのかお話します。
66	木下 卓弥	人間学部	人間文化学科	講師	社会教育、生涯学習、地域づくり	学校と家庭のそとにある「学び」をさがす	「学び」は学校や家庭だけでなく、あらゆる場で生まれている。では、どのような場や人々との関わりのなかで、「学び」が生まれているのか。自分の生きてきた歴史から、多様な「学び」を問い直してみる。
67	阿部 純	人間学部	人間文化学科	助教	歴史的差別、カラーブラインド主義、模範的小数派	①アメリカにおける歴史的差別——カラーブラインド主義とは何か？ ②「人種」とは何か？——差別・暴力・負の遺産を考える ③「模範的小数派」という神話—アメリカにおける人種秩序の構造を考える	①カラーブラインド（＝肌の色を意識しない）は本来、差別をなくすための言葉だが、現在それは差別の温存のために使用される。耳当たりの良い「平等主義」が覆い隠す「差別」を考える。 ②生物学的な「人種」が否定されてから久しい。しかし、我々は未だに「肌の色」に翻弄されている。なぜ人種差別はなくなるのか？「人種」が社会的に構築された要因と歴史、その影響を考える。 ③現代版名誉白人とも言うべき「模範的小数派」としてアジア系アメリカ人は見做される。白人を頂点とするアメリカの人種秩序が強固に維持される複雑な構造を、アジア系を中心に考える。
68	近藤 裕子	人間学部	人間教育学科	教授	作曲 ・ 編曲、音楽理論	昔、子どもだった人たちがへー次世代に残したい音楽との出会いー	私たちの心に残る歌はどのように生まれたのだろうか？そのヒミツを探る。
69	佐藤 正恵	人間学部	人間教育学科	教授	発達・臨床心理学	特別なニーズをもつ人への理解	発達障がいをもっている方々への理解を深める授業を行い、共に支援のあり方を考えたい。
70	新福 悦郎	人間学部	人間教育学科	教授	教育実践学、人権教育、社会科教育、学校安全	①人権と法で深める学校安全 ②判決書で深める人権教育	①いじめ問題や学校事故、防災教育について考える。 ②子どもの権利やハンセン病問題などについて学ぶ
71	高橋 寛人	人間学部	人間教育学科	教授	教育学	学問・研究とは何か	大学の様々な学部・学科と学問の関係を整理・紹介し、研究の面白さを説明し、大学で学ぶ意義を理解してもらう。
72	横江 信一	人間学部	人間教育学科	特任教授	学級経営、特別活動、総合的な学習の時間、キャリア教育	①不登校やいじめを生まない学級づくり ②「ゲーム依存」から子どもを救えるか ③信頼関係を築くコミュニケーション力の育て方	①子どもにとって親は重要な「縦の関係」であり、友達（同級生）は必要な「横の関係」である。人間関係づくりで大切な「ナナメの関係」から、これからの学級を考える。 ②ゲーム依存の実態やゲーム障害の兆候をもとに、学校や家庭、地域が子どもへの対処としてできることや日常生活の中で改善できることを提案する。 ③アيسプレーキング、GWT（グループワークトレーニング）、p4c（子どものための哲学）を組み合わせた討議の二重方式を提案した人間関係づくりを行う。
73	小玉 幸助	人間学部	人間教育学科	准教授	精神保健、公衆衛生、キャリアデザイン	①精神保健（学校生活に必要な精神保健の知識） ②公衆衛生（産業衛生と産業精神保健）	①高校生は就職や進学などのライフイベントを経験します。社会人または大学生になるために必要な精神保健の知識とセルフケアの方法などをお伝えします。 ②労働環境に関連する精神疾患、健康予防、心のケア、安全衛生、キャリアデザイン等についてお伝えします。
74	高橋 有香里	人間学部	人間教育学科	特任准教授	保育学、子育て支援	赤ちゃんも絵本が大好き（保育の仕事の面白さ）	乳幼児の言語発達と絵本の関係性を楽しく解説
75	永山 貴洋	人間学部	人間教育学科	准教授	教える、心理学、スポーツ	①心理学にふれてみよう ②「教える」について心理学から考えてみよう ③子どもの才能について考えてみよう	①心理学にはどのようなイメージがありますか。心理学について、身近な例をもとに考えます。 ②「教える」とはどういうことか。心理学の視点から考えます。 ③子どもの才能が花開くためには、どのような学習、指導が必要か考えます。
76	大道 一弘	人間学部	人間教育学科	准教授	心理学、学習、知識	①知識と学びにまつわる心理学 ②行動の習慣化はなぜ起こる？	
77	新鶴田 道也	人間学部	人間教育学科	助教	理科教育、科学教育、理数探究	①スマートフォンを使った大気圧の測定 ②スライムの教材化 ③輪ゴムを使った教材研究	①スマートフォンやタブレット端末を使って大気圧の変化の測定を試みます。 ②子どもたちに人気のスライムを教材化する場合に必要な教材論的視点について学びます。 ③輪ゴムを使った教材について、対象（幼児から高校生まで）を想定して教育的価値を考えます。
78	高橋 功祐	人間学部	人間教育学科	助教	体育学、健康科学、発育発達学、測定評価学	①体力・運動能力の測定評価 ②生活習慣と健康管理 ③身体組成の測定	①幼児期の子どものから高齢者までを対象に、体力・運動能力を測定します。得られた結果をもとに課題の整理や改善点の提案を行います。 ②健康的な生活習慣とは何か。健康管理のためにどのようなことを気を付けるべきか。年齢やライフステージに応じた健康管理の方法について、科学的な根拠を交えて説明します。 ③体組成計を用いて、脂肪量や筋肉量、推定骨量などを測定します。得られた結果をもとに課題の整理や改善点の提案を行います。
79	山本 雄大	人間学部	人間教育学科	准教授	偏見、差別、不平等	差別を抱いてしまう心理過程を考えよう	差別はそれを向けられた人々に有害な影響をもたらします。では、なぜ、私たちは差別を抱いてしまうのでしょうか。そして、どのような時に差別を抱きがちになるのでしょうか。この講義では、私たちが差別を抱く心理過程について理解を深め、差別を是正するという観点からどのような取り組みが求められるのかを考えていきます。